

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 3 年 3 月 18 日 (2021.3.18)

【公開番号】特開 2019-84224 (P2019-84224A)  
 【公開日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-021  
 【出願番号】特願 2017-216431 (P2017-216431)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 5 日 (2021.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行う遊技機であって、  
 開閉可能な前面ドアが取り付けられた本体部と、  
 前記本体部の内部で所定情報を表示する表示部と、  
 前記所定情報の視認を阻害可能な阻害部と、  
前記所定情報に関する操作が行われる操作部と、  
前記操作部が設けられる基板と、  
前記基板が収容される基板ボックスと、を有し、  
 前記表示部に表示される前記所定情報は、前記前面ドアの開放幅が所定幅であるときに、  
 前記前面ドアの開放幅が前記所定幅より広い特定幅であるときよりも視認し難くなるように前記阻害部によって視認が阻害され、  
前記基板ボックスは、特定面に凹部が設けられ、  
前記凹部には、前記基板ボックスの外部から前記操作部を操作可能とする開口が形成され、  
前記開口の幅は、前記凹部の幅よりも狭い、遊技機

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A) 遊技を行う遊技機であって、  
 開閉可能な前面ドアが取り付けられた本体部と、  
 前記本体部の内部で所定情報を表示する表示部と、  
 前記所定情報の視認を阻害可能な阻害部と、  
 前記所定情報に関する操作が行われる操作部と、  
 前記操作部が設けられる基板と、  
 前記基板が収容される基板ボックスと、を有し、  
 前記表示部に表示される前記所定情報は、前記前面ドアの開放幅が所定幅であるときに

、前記前面ドアの開放幅が前記所定幅より広い特定幅であるときよりも視認し難くなるように前記障害部によって視認が障害され、

前記基板ボックスは、特定面に凹部が設けられ、

前記凹部には、前記基板ボックスの外部から前記操作部を操作可能とする開口が形成され、

前記開口の幅は、前記凹部の幅よりも狭い。

( 1 ) 遊技を行う遊技機 ( 例えば、スロットマシン 1 等 ) であって、

開閉可能な前面ドア ( 例えば、前面扉 1 b 等 ) が取り付けられた本体部 ( 例えば、筐体 1 a 等 ) と、

前記本体部の内部で所定情報 ( 例えば、設定値等 ) を表示する表示部 ( 例えば、セグメント表示装置 8 における表示部 8 A 等 ) と、

前記所定情報の視認を障害可能な障害部 ( 例えば、蓋部材 5 0 における没入部 5 3 の底板部 5 3 A 及び右側板部 5 3 C 等 ) と、を有し、

前記表示部に表示される前記所定情報は、前記前面ドアの開放幅が所定幅であるときに、前記前面ドアの開放幅が前記所定幅より広い特定幅であるときよりも視認し難くなるように前記障害部によって視認が障害される ( 例えば、セグメント表示装置 8 の表示部 8 A は、前面扉 1 b の開放幅が第 2 開放幅であるときに、前面扉 1 b の開放幅が第 1 開放幅であるときよりも視認し難くなるように没入部 5 3 の底板部 5 3 A、右側板部 5 3 C、さらに蓋部 5 1 によって視認が障害される等 ) ことを特徴とする。